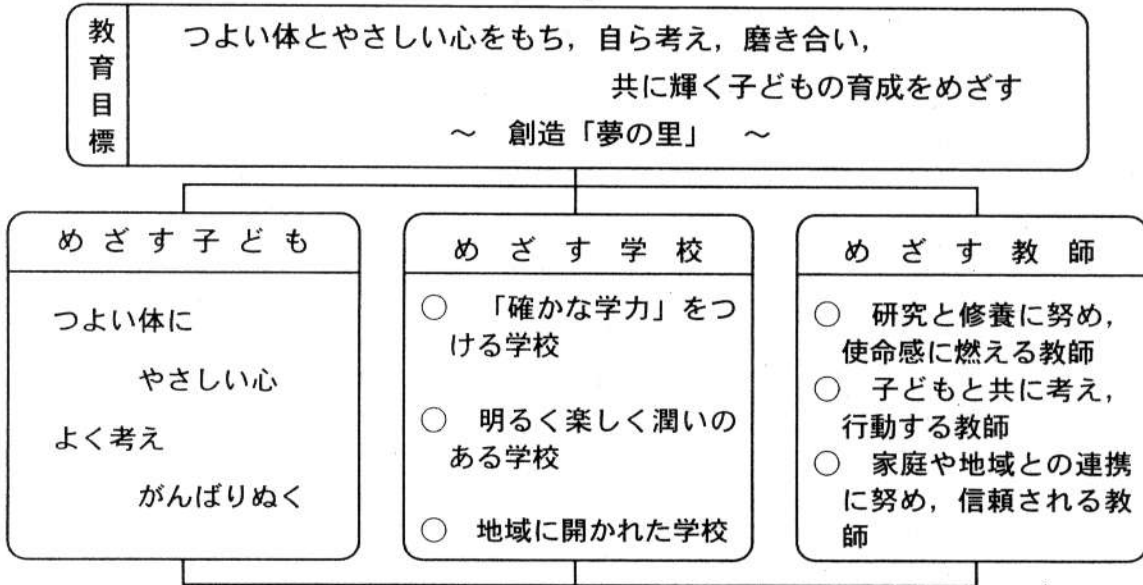


# 学校教育目標・経営方針・努力点

## (1) 平成21年度 学校教育目標・経営方針

	公 教 育	児 童 の 実 態	親 の 願 い
経 営 基 盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 憲法</li> <li>○ 教育基本法</li> <li>○ 学校教育法 などの諸法令、 規則</li> <li>○ 県、市教育 行政の重点施 策や方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明るく素直で学習意欲がある。</li> <li>○ のびのびとして表現力が豊かである。</li> <li>○ 目標に向かって努力する。</li> <li>○ ボランティア活動に取り組んでいる。</li> </ul> <p>※他律的、受動的な様子が見られる。 ※理解しているが実行に結びつかない。 ※直接体験の機会が不足している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力のついた子に</li> <li>○ たくましい体力・気力 のある元気な子に</li> <li>○ 思いやりのある優しい 子に</li> <li>○ 善悪の判断がしっかり できる子に</li> <li>○ 礼儀正しい子に</li> </ul>



経 営 方 針	
<p>知・徳・体の調和のとれた児童を育成し「生きる力」を育むために、本校独自の「夢の里教育プラン」の充実を図り、特色ある教育を推進する。</p>	
<p>1 「確かな学力」の定着を図る授業を追究し、「生きる力」を育成する。 子ども主体の授業を創造し、知識・技能の活用に必要な思考力・判断力・表現力等の育成を図るために言語活動を充実する。</p> <p>2 「こころの時間」の研究の成果を生かした心の教育を推進する。 ボランティア活動や自然体験活動などを通して内面に根ざした道徳性を養うとともに、心に届く生徒指導を推進する。</p> <p>3 体力の向上と健康・安全教育の充実を図る。 体育科や特別活動など学校教育活動全体を通じて、心身共に健康で調和のとれた子どもの育成及び体力・運動能力の向上に努める。</p> <p>4 環境教育の推進・充実と環境整備に努める。 身近な自然・社会・文化に目を向け、よりよい環境づくりに行動できる子どもを育成する。</p>	<p>5 情報教育を推進し情報活用能力を育成する。 コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用するとともに、情報モラルに配慮しながら情報選択・活用能力を育成する。</p> <p>6 進路指導・キャリア教育の推進・充実を図る。 人や社会との豊かなかかわりを持ち自分や他者と共に未来をつくり出す子どもを育てる。 (見つめる力、かかわる力、つくりだす力の育成)</p> <p>7 国際理解教育や外国語活動を推進する。 自国及び他国文化への理解を深め、十分意思疎通ができる国際的コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>8 学校・家庭・地域が一体となった「夢の里」の教育を推進する。 家庭・地域・関係機関と連携し、教育活動の理解・啓発、地域の人材や施設の活用など開かれた学校づくりに努め、信頼の絆を深める。</p>

(2) 努力点と具体的方策

努力点	具体的方策
◎「生きる力」を育むために、「夢の里教育プラン」の充実を図り、特色ある教育を推進する。	
1 教科部会、系の企画・運営の充実 2 特色ある学年・学級経営の充実 3 職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践に基づく教科等の年間指導計画の改善と行事の企画・運営の改善・充実</li> <li>○ 「一学校一改革」の促進、各種コンクールへの積極的応募と作品指導</li> <li>○ 自由参観など学校生活の積極的公開と経営目標の定期的評価の実施</li> <li>○ 言語活動を重視した学習指導法の研究及び職責感の高揚に必要な研修の実施</li> </ul>
1 「確かな学力」の定着を図る授業を追究し、「生きる力」を育成する。	
1 自己表現力を高める授業の創造 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着 3 「総合的な学習の時間」の充実 4 郷土に根ざした体験活動の実施 5 特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業充実のための共通実践事項の設定と実践（指導過程、学習のしつけ）</li> <li>○ 言語活動を重視した授業及び伊敷台表現タイム・読書タイムの充実</li> <li>○ 諸学力調査結果の活用と指導法の工夫・改善（少人数、習熟度別授業等）</li> <li>○ 家庭学習の習慣化と学習内容の工夫（発達段階に応じた家庭学習の工夫）</li> <li>○ 年間指導計画の充実及び自ら学び考える学習の推進</li> <li>○ 宿泊学習・校外学習等における体験活動の充実</li> <li>○ 体験的な学習における地域の人材活用による学習の深化</li> <li>○ 特別な支援を必要とする児童の個別の指導計画に基づく指導</li> </ul>
2 「こころの時間」の研究の成果を生かした心の教育を推進する。	
1 道徳教育の充実 2 人権同和教育の充実 3 福祉・ボランティア教育の推進・充実 4 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「こころの時間」の成果を生かした道徳の時間の指導法の工夫と完全実施</li> <li>○ 生命尊重に関する教育の実践及び異年齢学年間における交流教育の推進</li> <li>○ 人権を尊重し差別や偏見のない教育の推進、身近な人権問題についての研修</li> <li>○ 学年に応じた福祉・ボランティア教育の研究と実践</li> <li>○ 朝のボランティア活動の奨励（あいさつ、美化、花園の世話、係・委員会活動等）</li> <li>○ 生活のしおり「伊敷台のよい子」の共通理解と活用による規範意識の確立</li> <li>○ いじめ、不登校問題等への的確な対応</li> <li>○ 教育相談の計画的実施と家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立</li> </ul>
3 体力の向上と健康・安全教育の充実を図る。	
1 体力・運動能力の実態把握と活用 2 教科体育の充実 3 安全指導・健康指導の充実 4 楽しい給食時間の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力・運動能力調査結果を基に、児童一人一人に応じた体力づくりの推進</li> <li>○ 仲よし体育・体育的行事・「一校一運動」の内容の充実と計画的な実施</li> <li>○ 新学習指導要領の移行措置を踏まえ、基本的学習指導過程に基づく実践</li> <li>○ 具体的な場面に基づく危険予知・回避能力の育成と実践化の指導</li> <li>○ 警察・PTA・子ども110番の家等との連携による安全確保の訓練実施</li> <li>○ 既往症や疾病等への適切な対応、心肺蘇生・AED使用法などの救急措置の研修</li> <li>○ 楽しい給食の雰囲気づくりと食事のマナー・偏食等に関する指導、異物混入対策</li> </ul>
4 環境教育の推進・充実と環境整備に努める。	
1 各教科・領域等での環境教育の推進 2 学校版環境ISOにおける取組 3 校舎内外の環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的な活動や体験を通した身近な環境問題の理解と環境保全等の実践</li> <li>○ 廃棄物の減量、資源化、ごみ分別、水・電気使用量の削減への取組</li> <li>○ 朝のボランティア活動の奨励と清掃時間の指導及び後始末の徹底</li> <li>○ 教室や廊下等の設営の工夫、緑化活動の継続的な取組</li> </ul>
5 情報教育を推進し、情報活用能力を育成する。	
1 学習指導におけるコンピュータの活用 2 教育用テレビ会議ネットワークの活用推進 3 学校のホームページの充実と情報モラルの効用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科等指導へのコンピュータ活用の推進</li> <li>○ 他校との情報交換や共同学習及び関係機関との遠隔授業の推進</li> <li>○ ホームページの工夫・改善と、定期的な更新による情報発信</li> <li>○ 情報モラルの理解と学年の発達段階に応じた指導</li> </ul>
6 進路指導・キャリア教育の推進・充実を図る。	
1 望ましい職業観・勤労観の育成 2 夢や目標をもち、自らの生き方を考える教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャリア教育を組織的・計画的に実施するための全体計画の見直し</li> <li>○ 委員会・係、ボランティア活動などによる望ましい勤労観・職業観の育成</li> <li>○ 教育活動全体を通じて、発達段階に応じたキャリア教育、進路指導の推進</li> </ul>
7 国際理解教育（国際郷土教育）や外国語活動（英会話活動）を推進する。	
1 日本と外国の言語や文化についての体験的理解 2 国際的コミュニケーション能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現力（コミュニケーション能力）を重視した全体計画・年間指導計画の改善</li> <li>○ 郷土理解や英会話活動の充実</li> <li>○ 外部講師（AEAや地域人材等）の活用</li> </ul>
8 学校・家庭・地域が一体となった「夢の里」の教育を推進する。	
1 職員・保護者・地域住民との協力関係の確立 2 PTA活動の充実 3 社会教育・社会体育との融合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者・地域との連携による心の教育の推進</li> <li>○ 学校・学年だより、ホームページ等による情報提供及びホームページの充実</li> <li>○ 教育活動への地域の人材活用とゲストティーチャーやボランティアの協力依頼</li> <li>○ 地域担当と各地域との連携及び地域行事への積極的参加</li> <li>○ 学級PTAの内容の充実と伊敷台まつりなどのPTA行事への参画</li> <li>○ スポーツ少年団との連携による児童の健全育成、公民館活動への積極的参加</li> </ul>